

指導資料



鹿児島県総合教育センター

地理歴史・公民 第5号

- 高等学校，特別支援学校対象 -

平成19年10月発行

中学校の学習をふまえた 高校「公民」経済分野の授業の工夫

高校の公民科「現代社会」「政治・経済」のなかの経済分野の学習は，中学3年生での経済的分野の20数時間の学習を基礎に，高校で多くても通算40時間程度で，市場経済の基本的な考え方や職業の意義などを理解させることになる。そこで本稿では，中学3年生での学習の実態を把握し，その内容を踏まえながら，高校の公民科の経済分野，なかでも生徒が理解しづらい様々なものの価格の決まり方や円高円安，為替レートについての授業の工夫について述べる。

1 中学校での学習の実態を把握し需要と供給の関係を分かりやすく説明する

『中学校学習指導要領解説社会編』では「公民」の経済に関する内容は，ねらいに基づき次のような観点から構成されている。

- ・ 経済活動の意義について消費生活を中心に理解させるとともに，価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。
- ・ 社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，社会保障の充実，消費者保護など，市場の働きにゆだねることが難しい諸問題について，国や地方公共団体の果

たす経済的役割について考えさせる。

(波線筆者)

授業に当たっては，まずプレテスト等を行うことで，これらの内容が定着しているかどうか，実態を把握しておきたい。なお，この単元の基礎的・基本的事項は次のとおりである。

東京書籍	市場	市場経済	需要量	供給量
公民的分野	市場価格	均衡価格	寡占	独占価格
(中3)	格	独占禁止法	公共料金	
教育出版	価格	供給量	需要量	均衡価格
公民的分野	市場経済	独占禁止法	公正取引委員会	寡占
(中3)	員会	寡占	公共料金	

- (1) グラフを読み取り需要と供給の関係から均衡価格を求めるワークシートの工夫
- 中学校で学んだグラフ(図1)を書かせながら，生徒自らが，需要と供給の関係から均衡価格を求めることができるようなワークシートの工夫(図2)をする。太枠線で囲った部分を空欄にして，考えるためのヒントとして活用し，自ら説明できるようになるための手立てとして利用する。こうした工夫を行うことでグラフの読み取りについて確実に理解させたい。

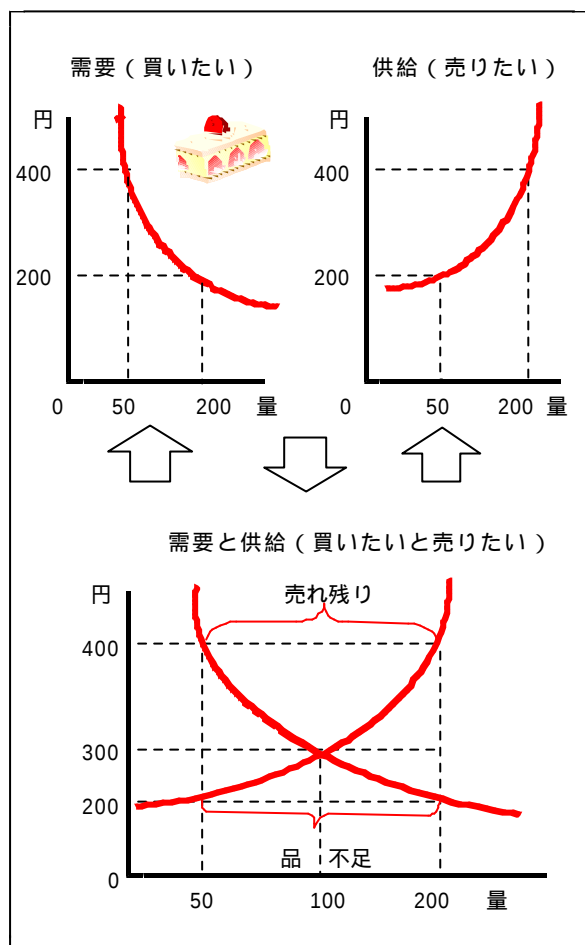


図1 中学校で「経済の学習」をしたとき利用するグラフ

価格 (円)	需要 買いたい 消費者	供給 売りたい 生産者	との 関係
400	50個 高いから50個しか買えない。	200個 高いから200個売りたい。	150個 売れ残り
300	100個	100個	余らない 均衡価格 不足しない
200	200個 安いから200個買いたい。	50個 安いから50個しか売らない。	150個 品不足

図2 需要と供給の関係と価格を理解させるためのワークシートの工夫例

モノを通した需要と供給の関係に理解が深まったら、次に「労働力」にも需要と供給の関係があるという経済活動にもつなげられる。

具体的に、東京など大都市でパートタイマーが不足していることについて考えさせる。一般的にパート労働者は、少しでも時給の高い企業で働きたい（自分の「労働力」を高く売りたい。）と考える。一方で企業は少しでも人件費を抑えたい（安くで「労働力」を買いたい。）と考える。図1と図2を同じように使って理解を深めたい。

(2) 様々な価格の決まり方を、理解させるための工夫

様々な価格の決まり方を、身近な事例をあげグラフを使って理解させたい。

（均衡価格はXからYに移動する。）

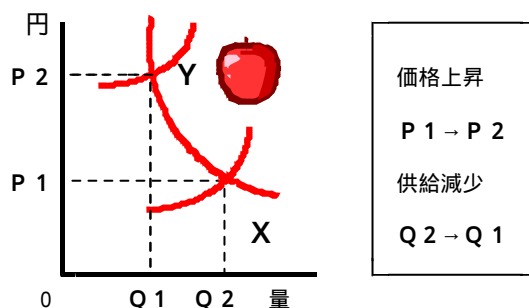


図3 台風通過後、入荷が減ったりんごの値段

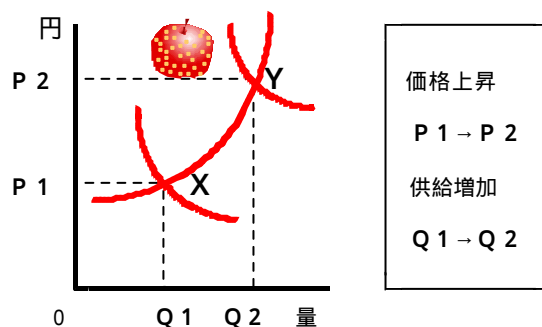


図4 効用が新聞に載ったあるりんごの値段

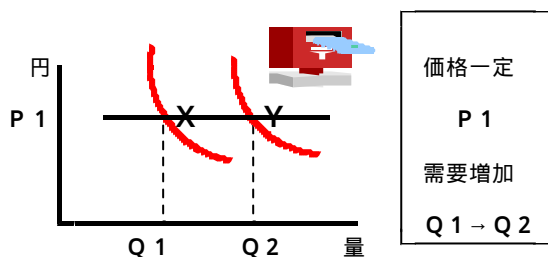


図5 需要が増えた年賀葉書の値段

また，次のような具体例を挙げ生徒に発表させるとさらに理解が深まる。

- ・ 原油価格上昇とマグロの値段（図3を利用）
- ・ 年末に高いイチゴの値段（図4を利用）
- ・ ほとんどの缶コーヒーの値段（図5を利用）
- その他の例
- ・ 相対取引（事前に量と金額を決める）
- ・ スーパーで見られる19時以降の刺身や総菜の値段
- ・ 季節によるテーマパークの入園料 など

特に独占・寡占市場が形成されている場合や公共料金の場合など図5を使うと分かりやすい。ここでは学習指導要領にあるように，網羅的で高度な取扱いにならないように身近で具体的な事例を取り上げ，経済活動が様々な条件の中での選択を通じて行われるという点を理解させたい。

(3) 公共料金を理解させる工夫

課題解決学習のテーマとして「公共料金」とは何か考えさせ，固定電話通話料や電気料金などに競争原理が導入されてきた背景を考察させる。

また，高速道路の料金やタクシー料金などは申請に基づき政府が認可すること

で，国内航空運賃は政府に届け出ることによって決まり，必ずしも統一された価格ではないことに気付かせる。また公立学校の授業料や公衆浴場の入浴料は地方公共団体が決定するなど様々な価格の決定の仕方があるということを理解させたい。

2 中学校での学習の実態をふまえ為替レートと貿易を分かりやすく説明する

為替レートは中学生にとって理解しづらい分野の一つであると考え。円高や円安という言葉は知っていても，理屈を説明できない生徒は多い。そこで次のような工夫を行うことで理解を深めさせたい。

(1) 円高円安を理解させるための具体例を基にした発問の工夫

次のような発問の工夫（図6）を行い，円高や円安が貿易に与える影響について理解させたい。画用紙等で大きな現金を作成し，それを使いながら発問を行っていくなどの工夫も併せて行いたい。

- 今1ドル = 115円としましょう。
- ア 1ドル = 200円と1ドル = 100円のどちらが円高ですか。
- イ 100円は何ドルと交換したほうが（0.5ドルか1ドルか）得ですか。
- ウ 円の価値が高い方が円高である。（1ドルランチや1ドルのハンバーガーを例にし）ハンバーガーを1個買うには100円のほうがよいですか。200円のほうがよいですか。

エ 1ドル = 100円なのでいまのうちに
多くの人を買おうとするのはアメリカ
製のジャケットですか。あるいは
日本製のジャケットですか。

(円高の時は日本は輸入が有利。)

オ この時期(1ドル = 100円の時)に
200円の日本製品をアメリカへ輸出
するとアメリカは何ドル支払わねば
ならないですか。

(円安の時は日本は輸出が不利。)

図6 円高円安を学ぶ一問一答の例

(2) 円高円安の具体例を通して通貨の売り 買いを理解させる工夫

中学校の教科書にも「通貨の売り買
い」という表現が出てくるが、通貨でモ
ノを買う(売る)日常の感覚では理解
が難しいと思われる。しかし、なぜ円
高(ドル安)になるのか、円安(ドル
高)になるのかを考える上で「通貨の売
り買い」を理解することは避けては通れ
ない。そこで具体例を挙げ、円高円安に
ついて比較しながら説明する。(図7)

円買い・ドル売り → 円高・ドル安

- 多くのアメリカ人が日本で観光旅行
をするために円を必要とする。
- 日本からアメリカへ輸出が増えてア
メリカ企業が日本企業に支払う円を必
要とする。

円売り・ドル買い → 円安・ドル高

- 多くの日本人がアメリカで観光旅行
をするためにドルを必要とする。
- アメリカから日本への輸出が増えてア

メリカ企業に支払うドルを必要とする。

図7 通貨の売買を比較して学ぶ工夫例

3 生徒個々のオリジナルノートの作成

経済の分野は学力が定着しづらいことが
多いので、何度も振り返ることによって理
解が深まる見開きのノート作りを心がけた
い。

左ページは板書用に、中学校の教科書に
出てくる基礎的・基本的事項を色を変えたり
□で囲ったりして定着を図りたい。
生徒が授業の復習や内容を説明したりする
とき参考にできる記述を心掛たい。

右ページは、復習や課題をしたり発展的
な学習を展開したい。例えば自分が経営者
のつもりで、図を書きながら需要と供給を
理解したり、中学校教科書の円高円安を例
に日本あるいはアメリカ双方の立場から、
また産業界の立場から書かせるのもよい。
繰り返し学習をすることで、小論文を
書いたり調べ学習するときも有用である。
左右両ページが同時に視野に入ること学
習を効果的に進めることができる。

本稿では、高校「公民」の経済分野で、生
徒の理解が不十分になりがちな学習内容につ
いて、中学校での学習を踏まえながら、具
体的な取り組みについて述べた。今回述べた具
体例を参考にして、授業の工夫改善に更に取り
組んでほしい。(教科教育研修課)